

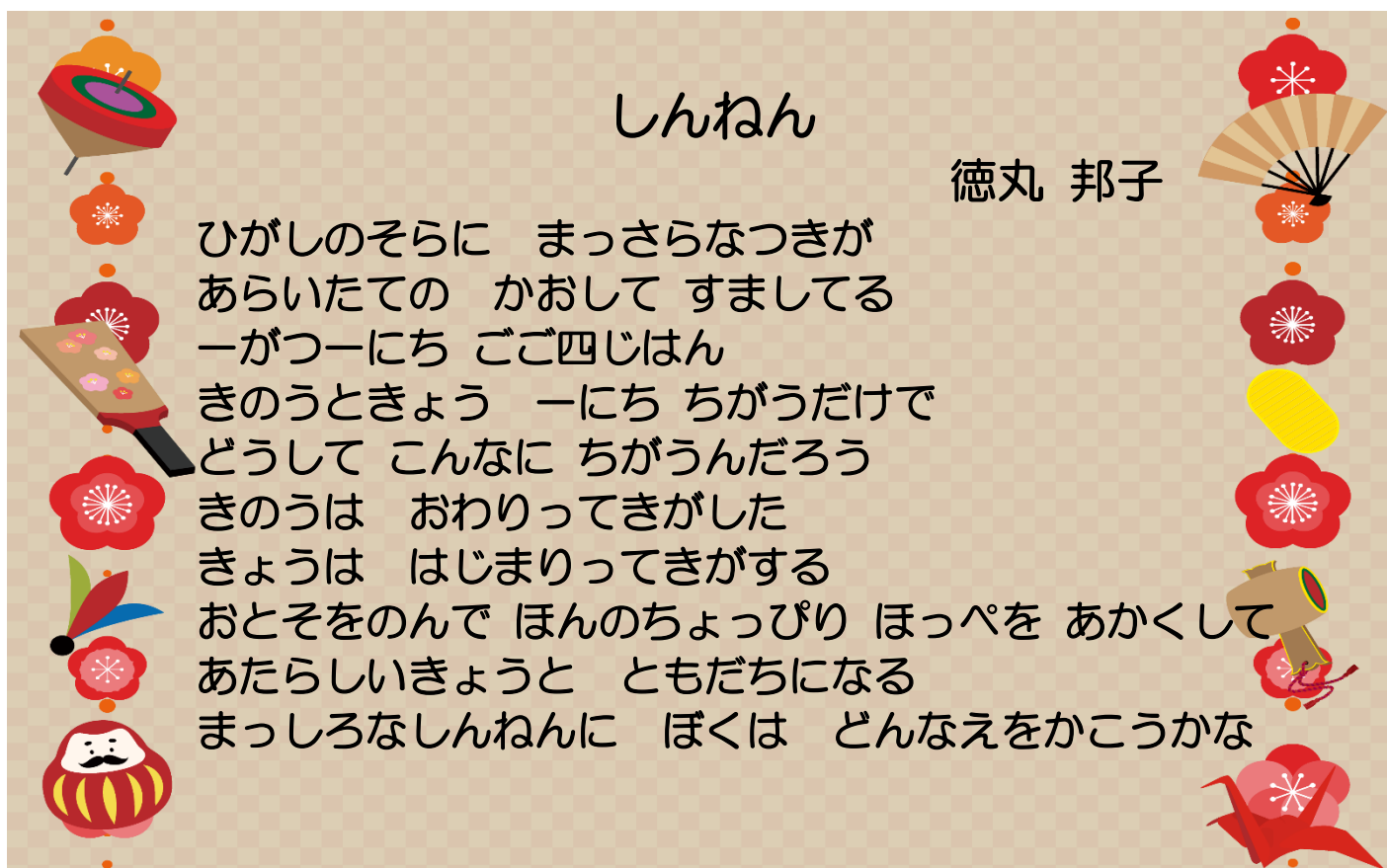
3 学期始業式校長講和

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

2週間の冬休みが終わりました。どんなお正月を過ごしましたか。お餅をたくさん食べたり、お年玉をいっぱいもらったりしたのではないのでしょうか。初詣に行った人も多いかと思います。

私は元日に近くの神社に初詣に行ってきました。今年こそコロナが収束し安心して過ごせますように」とお願いをしてきました。

さて、今日は、新しい年の初めに、「しんねん」という「詩」を紹介したいと思います。しっかり聞きましょう。



詩に書かれているように、新しい年、新しく始まることに対して、気持ちが「ぱりっ」とします。そういう時が、人間には必要です。

今日は、3学期の始まりの日、まさに「ぱりっ」とする時ですね。そして、3学期は学年のしめくくりの学期でもあります。

新しい年を迎え、皆さんは、3学期やこの1年に、頑張りたいことを考えたと思います。

目標を持ち努力することはとても大事です。でも頑張ったことがすぐ結果に出ないこともあります。そんな時、「がんばっても無駄」「自分にはできないんだ」と思ってしまうことがあります。だけど、がんばっていることは決して

無駄にはなっていません。形となって表れなくても、心や頭や体には、がんばった分の力がしっかりと蓄えられています。

「うさぎとかめ」のお話でわかるように、小さな一歩であっても、こつことと重ねていくと、それは、すごい大きな力となるものです。

3学期は1年で一番短い学期であり、あっという間に過ぎていきます。だからこそ、決めた目標に向かって一歩一歩努力し悔いの残らないようにしましょう。

そして、4月、新しい学年へとつないでいけるよう頑張ってください。

最後です。

年末から新型コロナウイルスの変異種「オミクロン株」がじわじわと広がっていたのですが、1月に入りその感染が急激に広がっています。子どもたちにも広がっているというニュースを聞きました。

皆さんは、これまでどおり、三密を避け、正しく感染防止対策を取りながら十分注意して元気に学校生活をおくってください。

